



東北大学

平成 28 年 10 月 21 日

報道機関 各位

東北大学総務企画部総務課
(IDE 大学協会東北支部)

〈開催案内〉

平成 28 年度 IDE 大学セミナー

「地域人材育成のために大学は何ができるか—大学と地域の連携の新しい課題—」

IDE 大学協会東北支部及び東北大学高度教養教育・学生支援機構の主催事業として、平成 28 年度 IDE 大学セミナー『地域人材育成のために大学は何ができるか—大学と地域の連携の新しい課題—』を下記のとおり開催いたします。

ついては、ご多忙と存じますが、ご取材の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。ご取材に際しては、次頁問い合わせ先までご一報くださいますようお願い申し上げます。

平成 28 年度 IDE 大学セミナー

日 時：平成 28 年 11 月 21 日（月）13：00～17：25

場 所：仙台ガーデンパレス（宮城県仙台市宮城野区榴岡 4-1-5）

参加費：無 料

申し込み：Web 申込み (<http://www.ihe.tohoku.ac.jp/>) 又は、別紙「参加申込書」に記載の上、郵送、FAX、メールのいずれかにてお申込みください（11/11（金）到着分まで）。

プログラム：

13:00 開講式

挨拶 里見 進 IDE 大学協会東北支部長、東北大学総長
趣旨説明

13:15 基調講演：（講演及び質疑 50 分）

地域が求める人材育成と大学・高等教育機関の課題
講師 吉本 圭一（九州大学 大学院人間環境学研究院 教授）

14:05 講演 1：（講演及び質疑 35 分）

石川の地域づくりと大学の役割 ～COC 事業、COC プラス事業、地域連携への期待～
講師 高山 純一（金沢大学 理工研究域 環境デザイン学系 系長（教授））

14:40 休 憩

14:50 講演 2：（講演及び質疑 35 分）

地域産業振興と大学
講師 枋原 克彦（日本商工会議所理事）

15:25 講演 3：（講演及び質疑 35 分）

大学と地域の連携を通じた人材育成 —青森型地方創生サイクル—
講師 吉澤 篤（弘前大学 理事）

16:00 休 憩

16:10 討 議：

東北を担う人材育成の課題と期待
コメンテータ 岩瀬 恵一（東北経済産業局地域経済部長）

17:15 閉講式

挨拶 花輪 公雄 東北大学理事、高度教養教育・学生支援機構長

【開催趣旨】

現在の日本社会の最大問題の一つは、少子高齢化が地域的に不均衡に進む人口減です。東北各県では軒並み 20%から 30%の人口減になるという推計が発表され、2014 年には、日本創成会議が 2040 年までに全国 896 市町村が「消滅可能性都市」になるというショッキングな警鐘を発しました。地方の人口減は、東京圏への一極集中も大きな要因であり、介護人材不足など様々な問題が危惧されています。日本創成会議は、地方に若者を呼び戻すために地方拠点都市の構築を提言していますが、地方の均等的発展ではなく、公共投資の集中化を進めようとしており、反発も生んでいます。

大学も少子高齢化・地方人口減・東京集中の動きと無縁ではないどころか、渦中にあります。すでに私立大学は、東京周辺地域から都内へ移動し、人口減少地域からの撤退を進めています。大学は設置形態を問わず、地方に立脚し、地域の高等教育機会の確保に寄与してきましたが、それに止まらず、地域の経済・文化の振興や、人材育成によりコミットすることが期待されています。

高等教育政策においては、2015 年度に急遽 COC+事業（地（知）の拠点大学による地方創生推進事業）を公募し、2016 年度から大学の入学定員の管理を厳格に行い、大都市圏への学生集中を抑制する方策がとられています。しかし、人口移動の大きな圧力を変えるものではありません。大学は、従来から、学校教員・医療関係者・福祉関係者などの人材育成や、公開講座など大学開放をはじめとする多様な形態で地域との連携を行ってきましたが、これで十分なのでしょうか。公立大学は従来から地域に立脚し、地域と連携した活動に取り組んできました。また、多くの私立大学も同様に立地地域に根ざした教育・研究活動を展開してきました。国立大学も、「地域貢献型」「特定分野型」「世界水準型」の 3 つの枠組みによって機能強化が行われることになりましたが、地域の産業振興や雇用拡大、生活圏の構築は、「地域貢献型」を選択した 55 大学だけの課題でしょうか。地域の課題は、日本社会そのものの課題なのです。

今回の IDE セミナーは、人口減少問題に直面している東北地方の大学として課題を共有し、地域に果たすべき大学の役割と可能性を探る機会とします。

【問合せ先】

東北大学総務企画部総務課（太田）
（IDE 大学協会東北支部事務局）
〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1
TEL 022(217)4811 FAX 022(217)5906
E-mail: gen-som@grp.tohoku.ac.jp

IDE 東北支部事務局（東北大学総務企画部総務課総務係）宛
FAX:0 2 2 - 2 1 7 - 5 9 0 6

参加申込書

平成 2 8 年度 I D E 大学セミナーへの参加を申し込みます。

ふりがな*			
氏 名*			
性 別		年 齢	才
所 属*			
職名（学年）*			
専門分野			
連絡先*	〒		
	TEL		
E-mail			
懇親会への参加について* (いずれかに○をつけてください)	参加する ・ 参加しない ※ 懇親会費 3,000 円は、当日受付にて頂戴します		

1) 必要事項を記入の上、郵送、FAX、E-mail（送信先： gen-som@grp. tohoku. ac. jp)のいずれかでお申込ください。*は必須事項。

2) 11月11日(金)締め切り

地域人材育成のために 大学は何ができるか

—大学と地域の連携の新しい課題—

日時：2016年**11**月**21**日(月)13:00～17:25(17:30～19:00懇親会)

会場：仙台ガーデンパレス 2F 鳳凰

(仙台市宮城野区榴岡4丁目1番5号 TEL:022-299-6211)

講演

13:15 基調講演：「**地域が求める人材育成と大学・高等教育機関の課題**」

吉本 圭一 (九州大学 大学院人間環境学研究院 教授)

14:05 講演1：「石川の地域づくりと大学の役割

～COC事業、COCプラス事業、地域連携への期待～

高山 純一 (金沢大学 理工研究域 環境デザイン学系 系長(教授))

14:50 講演2：「地域産業振興と大学」

朽原 克彦 (日本商工会議所 理事)

15:25 講演3：「大学と地域の連携を通じた人財育成—青森型地方創成サイクル—」

吉澤 篤 (弘前大学 理事)

16:10 討 議：「東北を担う人材育成の課題と期待」

コメンテータ 岩瀬 恵一 (東北経済産業局 地域経済部長)

人口減少問題に直面している東北地方の大学として課題を共有し、
地域に果たすべき大学の役割と可能性を探る。

■ 申込み方法：Web申込み (<http://www.ihe.tohoku.ac.jp/>) 又は、別紙「参加申込書」に記載の上、郵送、FAX、メールのいずれかにてお申込みください。

■ 申込締切：2016年11月11日(金) 到着分まで

■ 参加費用：(1) セミナー参加費は無料ですが、セミナー参加に係る交通費、宿泊費等は全て参加者のご負担とさせていただきます。
(2) 懇親会に出席される方は、会費3,000円を当日会場にて申し受けます。

■ 連絡先・参加申込先：IDE大学協会東北支部事務局 〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1
TEL:022(217)4811 FAX:022(217)5906 E-mail:gen-som@grp.tohoku.ac.jp

主催：IDE大学協会東北支部／東北大学高度教養教育・学生支援機構

